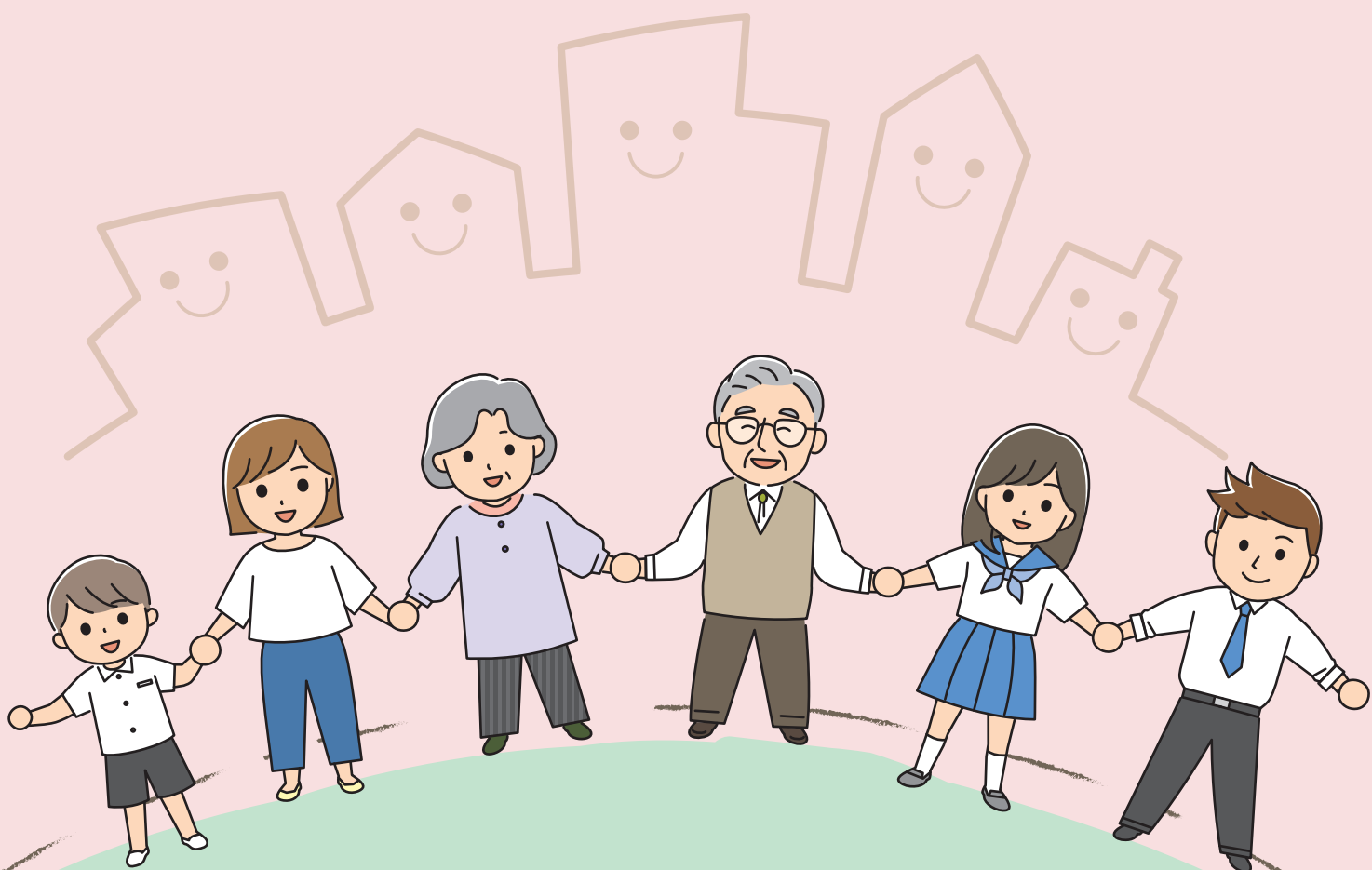


地域福祉活動計画

令和8年度～令和12年度



社会福祉法人松茂町社会福祉協議会

はじめに 2

第1章 地域福祉活動計画の概要

福祉とは・地域福祉とは・地域福祉活動計画とは 3
この計画で目指すこと 4
地域福祉活動計画の期間 4

第2章 基本理念・基本方針・基本目標

2-① 体系図 5
2-② 基本理念と基本方針 6
2-③ 基本目標 6

第3章 基本目標についての取り組みの方向性と展開

基本目標1の現状と課題・取り組みの方向性と展開 7
基本目標2の現状と課題・取り組みの方向性と展開 9
基本目標3の現状と課題・取り組みの方向性と展開 11

第4章 指標とモニタリング

今後、目指す方向性 13

資料編 松茂町の統計データ 14
松茂町地域福祉活動計画策定委員名簿 15

はじめに

この計画では、「地域づくり・つながりづくり」をテーマにしています。

今回、地域福祉活動計画策定にあたり、民生委員児童委員、老人クラブや当事者団体、ボランティア、赤十字奉仕団、地域役員、地域福祉に関心のある住民等が参加した座談会を重ね、今後、住み慣れた町で安心して生活するために何が必要か、そして自分たち住民にできることは何かについて整理していきました。その際、町民対象のアンケート、当事者団体等からのヒアリング結果も参考にしました。

そこから見えてきた課題は、「近所で集まって趣味やおしゃべりをする場所がほしい」「一人暮らしなので体調不良の際、近所に頼れる人がほしい」「近所とのお付き合いが無い」などがあり、地域における住民同士のつながりの希薄化から、改めて「地域づくり」や「つながりづくり」が必要であると再認識しました。

これは既存の制度（障がい児者福祉・高齢者福祉・児童福祉また年金・生活保護・ひとり親などの各種制度）では対応しきれず、住民同士の互助の力を基に進めることが重要であることに気付きました。地域住民ができること、支援が必要なことを整理したものがこの計画となっています。



●社会福祉協議会として

社会福祉協議会では、社会的孤立を減らして、安心して住み続けたいまちづくりを目指し様々な事業展開を行っています。座談会を重ねる中で、松茂町では「地域づくり」や「つながりづくり」が必要という課題が改めて浮き彫りになりました。制度では対応できない、あるいは対応しにくいこれらの課題を、住民にしかなし得ない互助の力と、必要に応じて専門職や社会福祉協議会などの関係機関とが連携し、福祉のまちづくりの支援のため取り組んでいきます。

松茂町社会福祉協議会スローガン

一緒にやらんで！

地域の絆 支え合う 福祉のまちづくり



福祉とは・地域福祉とは・地域福祉活動計画とは

●福祉とは

～ **ふ**だんの **く**らしの **し**あわせづくり～

ひとり一人の「普段の 暮らしの 幸せ」のことです。



●地域福祉とは

～ **地域社会の力により住民の生活を支える仕組み**～

住民、地域福祉促進会、自治会、民生委員児童委員、ボランティア団体、老人クラブ、当事者団体、社会福祉施設、その他関係機関、さらには学校、企業など地域社会を構成するすべての人や団体とが地域福祉の推進を主体的に担うことが求められます。

●地域福祉活動計画とは

社会福祉協議会が呼びかけて、上記の人びと、団体が自らの地域福祉活動の計画を策定する民間の活動・行動計画です。

地域福祉活動計画は、地域住民が地域のさまざまな福祉課題を把握し、その解決に向けた取り組みを、自らの計画として策定するものであるため、「住民参加」を積極的に推進し、「松茂町地域福祉計画」と連携した取り組みとしていくことが重要となります。



社会福祉協議会とは

社会福祉協議会は「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」（社会福祉法 109 条）であり、この地域福祉活動計画においては、住民のみなさんのご意見に基づき内容を整理するとともに、住民による活動を支援する役割を担います。したがって本計画では、社会福祉協議会の支援の役割・内容についても触れていきます。

この計画で目指すこと

社会的孤立に陥ることで、複合的な福祉課題を抱える住民の増加が社会問題になっています。誰にでもなり得る孤立状態も含め、安心して住み続けることができるまちづくりのため、住民自身が早期に住民の困りごとの発見ができる関係性や場所づくりを行い、社会的孤立を少しでも減少できるようにすることを目指します。



社会福祉協議会として

社会的孤立や複合的な福祉課題には制度のみでは対応しきれず、苦しんでいる人々がいま
す。地域での困りごとを発見する力は、専門職でも住民にはかないません。

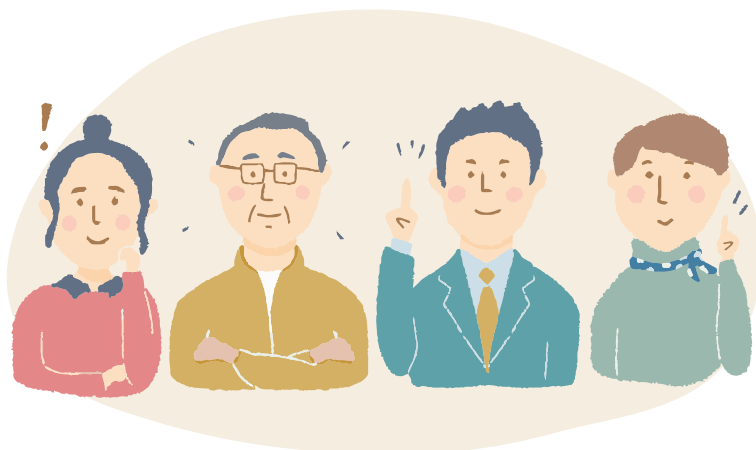
発見できる関係性や見守り支援の新しいしくみづくりを住民と連携してすすめていきま
す。

地域福祉活動計画の期間

令和8年度～令和12年度の5カ年です。

計画に基づく活動を定期的に評価し、必要に応じて柔軟に見直していきます。

そのために3つの委員会を設置し、取り組みの活動内容や連携に関する課題などをもとに、共
通の課題や、新たな課題解決に対応する推進体制を整備していきます。



2-① 体系図

●町内まるごとのネットワークづくり



※1 まつカフェとは、社会的孤立の減少を目指し、健康・生きがいを感じられる集う場、つながりづくりから困りごとを抱えている方の発見のしくみづくりをする場所として身近な地域で設置運営していくもの。

※2 つながりワーカーとは、住み慣れた地域で安心して暮らせるように、地域で孤立に気付き、つながり、つなげ、見守る人材を養成する研修を修了した方で、身近な地域で見守り活動を行っているボランティアのこと。

2-② 基本理念と基本方針

●基本理念

「誰もが安心して暮らせる 支え合う 福祉のまちづくり」

●基本方針

1. 社会的孤立の減少をはかる

第三者から見れば、困っているなど感じていても、自分から相談に行かない、必要性を感じていない、情報からの孤立、社会的孤立状態にある方を見つけ、状況を把握します。誰にでも陥る孤立を抱えている中で、地域社会でお互いに支える活動を行うとともに必要に応じて専門職とともに支える活動を展開します。

2. 5年後、10年後も住み続けたいまちづくり

病気やケガ、大切な人との別れ、免許返納など、5年後、10年後の自分や周りの人を取り巻く環境が大きく変わること、誰でも社会的孤立になる可能性があります。住民にしか見えない住民のくらしがあり、社会参加の中で居場所づくり、つながりを創出し、さらに見守りや支え合いの新しいしくみを増やせるように活動していきます。

2-③ 基本目標

基本目標 1	「つながり（支え合い）を築いていこう」
基本目標 2	「発見できるアンテナを増やそう」
基本目標 3	「健康・生きがいを感じられるまちづくり」



基本目標1

「つながり（支え合い）を築いていこう」

住民の声

住み慣れた地域で、近所の方と集まって定期的なおしゃべり会がしたい

住民の声

近所と付き合いがなくて孤立している人がいる

（※住民の声：座談会、各種アンケート回答による）

現状・課題

災害時や体調不良の際などに不安を感じるという声を多数聞きます。身近に集える場所や地域とのつながりをつくる機会がほしいとの声があります。

取り組みの方向性

まつカフェなど地域で誰でも気軽に集まれる居場所づくりに取り組みます。自分のできる役割を持ち、支え合い、気に掛け合う関係性の構築で充実感や安心感を得られるようにします。



展 開

「**ふ**だんの **く**らしの **し**あわせをつくる学び」

事業	誰が	何をする
<ul style="list-style-type: none">● 集う場づくり● 孤立している方へのつながりづくり● 担い手養成研修	<ul style="list-style-type: none">● 住民● 当事者(団体)● 関係機関	<ol style="list-style-type: none">① 住民同士で相談・支援できるしくみ② 当事者団体企画のピアカウンセリング^{※3}研修③ つながりづくりやおしゃべり会等の企画運営状況把握④ 社協や行政主催行事へ誘い合う

※3 ピアカウンセリングとは、「同じ立場や悩みを持つ仲間」が対等な関係で互いに話を聞き合い、支え合うカウンセリングのこと。

社会福祉協議会は

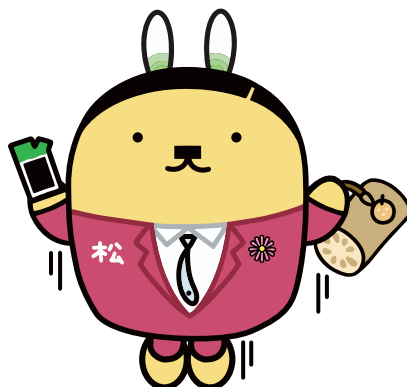
今まで実施されてきたつながりづくりの活動を大切にするとともに、「まつカフェ」など集う場づくりの活動を、町全体で行えるよう支援していきます。

また、ピアカウンセリング研修運営の支援、利用者からのニーズ把握、連携などにより社会的孤立が減少できるように支援します。



目指すゴール

- 住民誰もが社会に参加し、住民同士のつながりを大切にし、社会的孤立や情報の孤立化を防ぎます。



基本目標 2

「発見できるアンテナを増やそう」

住民の声

体調が悪くなったときに近所に頼れる人がほしい

住民の声

近所の方と声を掛け合ったり気に掛け合って生活したい

現状・課題

ライフスタイルの変化や、単身世帯が増えるなど、地域での関係性が希薄になっている現代、いざという時に近くに頼れる人がいなく、不安感があるという声をよく聞きます。また気になる近所の人のことについて、相談する人がいないなど地域で支えるしくみの脆弱化が顕著で今後不安があります。

取り組みの方向性

地域で生活している住民同士にしかわかり得ない気付きがあります。集う場は、ニーズ発見に大きな役割を果たしますが、さらに、多くの参加を得て、広く住民もボランティアに加わり、ニーズ発見のための見守りのしくみづくりをともに考えていきます。



展 開

「見守り支援の体制づくり」

事業	誰が	何をする
●見守り支援活動のしくみづくりの検討	●住民 ●当事者(団体) ●関係機関	①当事者団体活動によるニーズ把握、見守り支援 ②住民の地域福祉活動によるニーズ把握、見守り支援 ③防災訓練等によるニーズ把握・避難支援相談 ④各種相談機関との連携

社会福祉協議会は

各場面で住民の発見力から見えてくるニーズを住民自身が受け止め、住民同士の見守り支援で支え、これを社会福祉協議会は関係機関と協力し、しくみづくりの支援を行います。



目指すゴール

まつカフェの活動による見守り支援をすすめると同時に、既存の見守り支援を災害時対応も念頭に置いたしくみを発展させます。



基本目標 3

「健康・生きがいを感じられるまちづくり」

住民の声

健康で自立した生活を長く送りたい

住民の声

地域で、体操教室や趣味の集まりの場がほしい

現状・課題

社会的孤立は、程度は違ってはすべての人びとに生ずる問題です。しかし、孤立している人を支えることは、自らの孤立を和らげる活動とも言えます。また、ボランティア活動を行い、生きがいのある日々を過ごしたいという願いもあります。そして、自らの健康・生きがいを支援することは、他の人の健康・生きがいを支える活動につながります。

取り組みの方向性

参加者全員が自分のできることで役割を持てるような、社会参加をし、健康づくり・仲間づくり・生きがいににつながる活動を身近な地域で企画を考え実行していきます。



展 開

「健康と生きがいを目指す」

事 業	誰 が	何をする
●生きがい・健康づくり	●住民 ●関係機関	①趣味の集い(くんだら会) ②生きがい講座、ボランティア活動、老人クラブなどへの参加 ③健康教室(ようきたなの日、ますます元気講座、楽々ボディケア講座など)への参加 ④まつカフェ(おしゃべり会)への参加、ラジオ体操の継続、いきいき百歳体操への参加

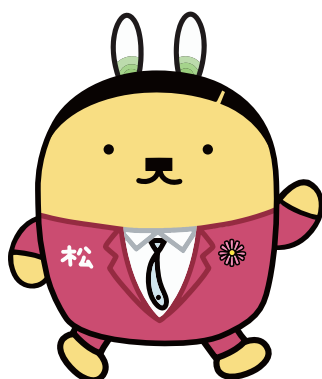
社会福祉協議会は

さまざまな事業への参加促進や運営支援を行います。



目指すゴール

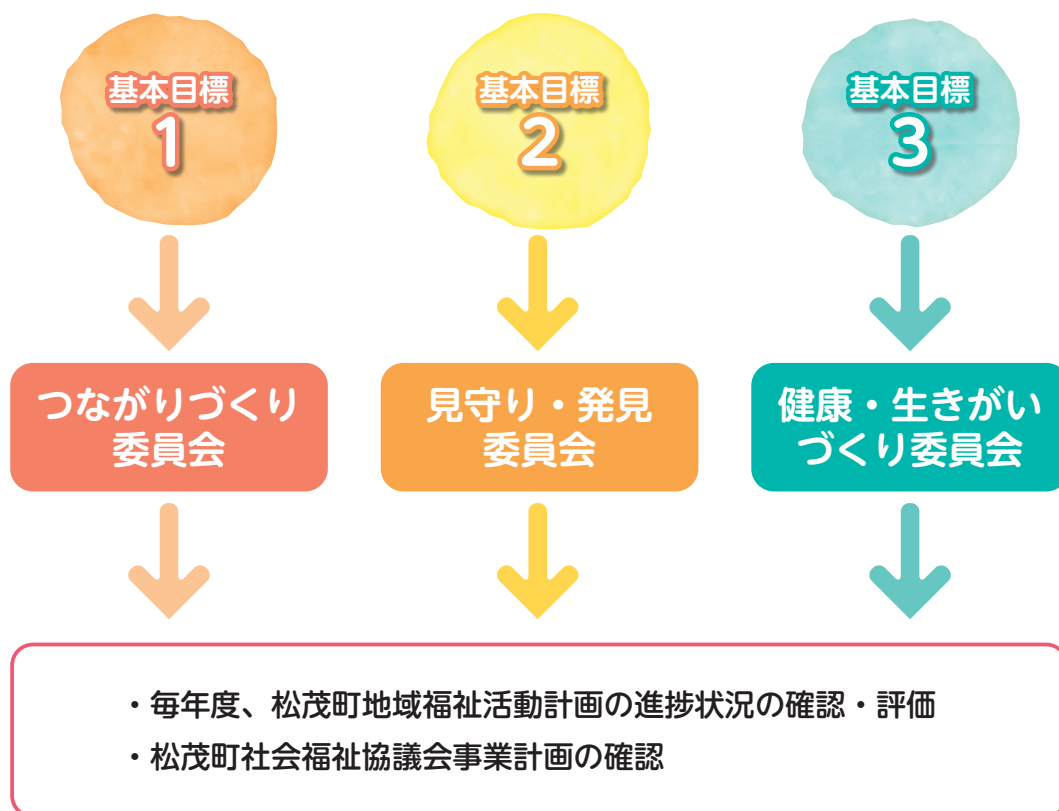
上記のような事業・活動をさらに活性化し、健康と生きがいを目指す活動を通して福祉ニーズを持つ人も含めて、全ての住民の健康寿命の延伸を実現します。



今後、目指す方向性

今回策定する地域福祉活動計画は、基本目標1～3のいずれにも問われることから、令和8年度松茂町社会福祉協議会事業計画にものせ実行していきます。さらに3つの委員会を設置し、毎年度、実施状況を地域の実情と照らし合わせ計画の進捗状況の確認や評価、新たな活動の計画づくりを行っていきます。

3つの委員会

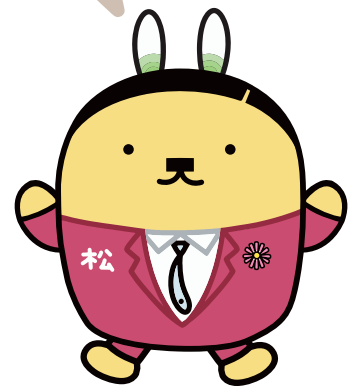


松茂町の統計データ

人 口	14,286 人
男 性	7,119 人
女 性	7,167 人
世 帯 数	6,987 世帯
年間増加数	-196 人
年間増加率	-1.37 %
平均年齢	47.19 歳

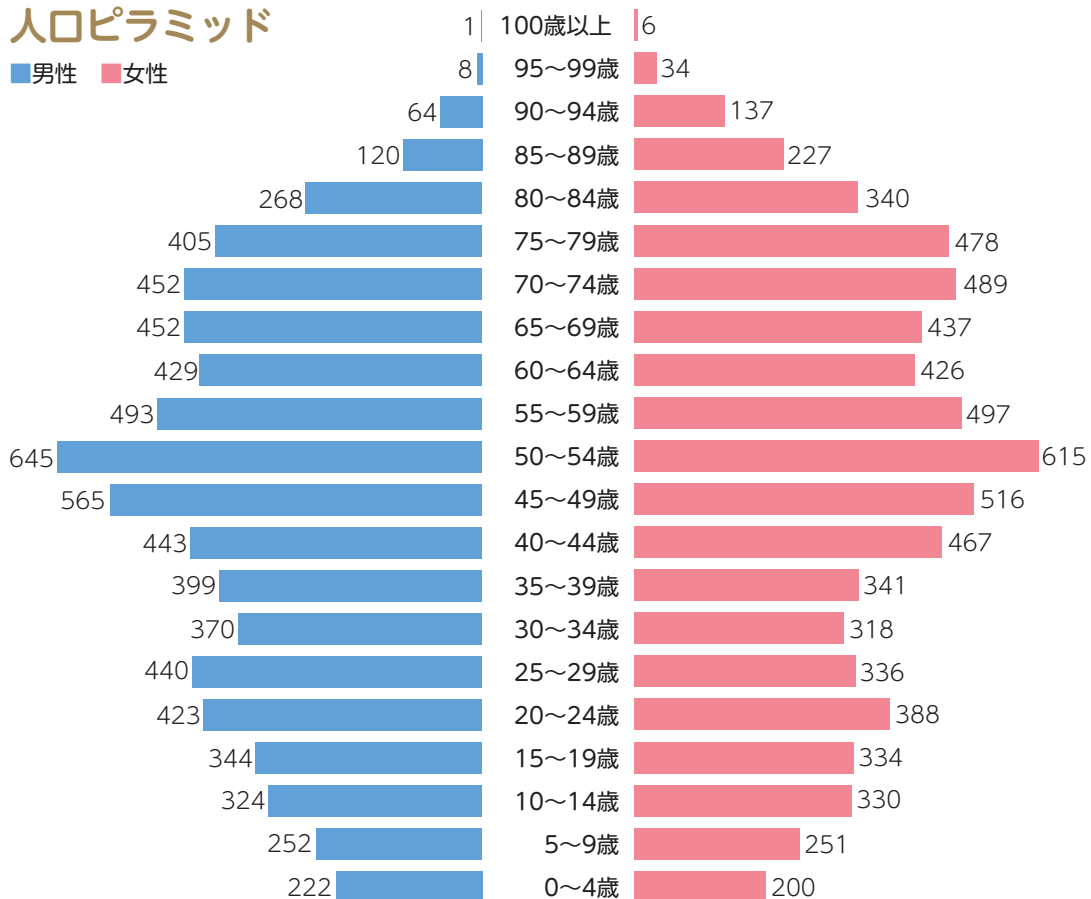
令和7年4月1日現在

単身 65 歳未満 2,000 世帯
 単身 75 歳以上 732 世帯
 単身 65 歳から 74 歳 399 世帯



人口ピラミッド

■ 男性 ■ 女性



地域福祉活動計画策定委員名簿

(敬称略・順不同)

役 職	所 属	氏 名
委 員 長	松茂町社会福祉協議会 会長	鈴谷 一彦
副 委 員 長	松茂町民生委員児童委員協議会 会長	吉田 彰子
副 委 員 長	社会福祉法人愛育会 総合施設長	谷口 哲也
委 員	松茂町長寿会 会長	三居 久夫
委 員	学識経験者	櫟田 修
委 員	松茂町愛光会（知的障がい者親の会） 会長	田中 清継
委 員	松茂町赤十字奉仕団 委員長	合田多美恵
委 員	松茂町みどり会（母子・寡婦会） 代表	林 賀代子
委 員	松茂町民生委員児童委員協議会 副会長	片岡 恵子
委 員	満穂地域福祉促進会 会長	坂下 栄治
委 員	松茂町ボランティアグループふきのとう 会長	西林 一子
委 員	松茂町民生委員児童委員	田中 昌子
委 員	松茂町長寿社会課 課長	河野 聖子
アドバイザー	日本福祉大学 客員教授	渋谷 篤男





社会福祉法人松茂町社会福祉協議会 地域福祉活動計画

年 月 令和8年3月

発 行 社会福祉法人松茂町社会福祉協議会

〒 771-0220

徳島県板野郡松茂町広島字三番越 2 番地 2

TEL 088-699-5352 FAX 088-699-5375

E-mail m-syakyo@wonder.ocn.ne.jp

URL <https://www.matsushige-shakyo.net>

